



# おゝたきね

第112号  
令和3年1月号

発行所 大滝根山友の会  
印刷所 土棚印刷

大滝根山分屯基地ホームページアドレス <https://www.mod.go.jp/asdf/ohtakine/>

## 謹賀新年



### 年頭のご挨拶

第二十七警戒群司令兼ねて  
大滝根山分屯基地司令  
二等空佐

前原 清隆



### 年頭のご挨拶

田村 市長

本田 仁一



### 年頭のご挨拶

川内 町長

遠藤 雄幸



新年あけましておめでとうございます。ご家族の皆さま、近隣市町村の皆さま、そして大滝根山分屯基地にご協力いただいている団体の皆さまにおかれましては、謹んで新春のお慶びを申し上げます。昨年、世界的大流行（パンデミック）となった新型コロナウイルス感染症は、日本を含む国際社会の安全保障上、重大な脅威となりました。自衛隊は、総力をあげて感染防止に向け様々な活動を行い、国民から高い評価を受けました。これは、国民の命と安全を守ることにだけ固執した隊員の結集（執着心）でありました。私たちも、任務は違えども、地域の皆さまの安全・安心を与えるため、これを担う

新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。隊員の皆様には、日頃より昼夜を分かたず国防の任はもとより、災害派遣や救難活動など国民の安全・安心な生活を守るため、身を賭して取り組まれていることに対し、深く敬意を表するとともに感謝を申し上げます。さて、昨年は、新型コロナウイルスという未知の脅威により、新しい生活様式を余儀なくされるとともに、何かと不安の多い一年でありました。様々な分野で、目まぐるしく変化し、改めて自然・社会情勢に対応する力が求められていると考えております。いまだ、終息の兆しが見えない中、市民の皆様の生命と安心・安全な暮らしを守ること、安全な暮らしを守ることを何よりも最優先に、必要な支援策を迅速に実施できるよう取り組んでまいり所存であります。

また、コロナ禍により、災害対応についても新たな対応が求められており、自衛隊の果たすべき役割、国民からの期待は非常に大きく、関係機関との連携は欠かせないもの隊ご視察があり、また、新型コロナウイルス感染症の影響により、各種事業の縮小や中止を余儀なくされるなどの影響があったことと思っております。が、基地司令のもと、一丸となって新型コロナウイルス感染症拡大防止などに、明るく、前向きに対応されてきたことと存じます。

わが国を取り巻く安全保障の環境は、極めて速いスピードで変化しており様々な課題や既存の秩序をめぐる不確実性が増大してはいますが、国民は自衛隊や防衛問題に対する関心が高く、自衛隊の役割が活動に対する信頼度も評価が

ことへの誇りを胸に任務を行っております。大滝根山分屯基地は、領空侵犯に備え、さらには災害派遣などの各種任務を休むことなく行っております。が、今年は、組織をより進化させる事業にも取り組んでまいりませう。各々が、それぞれの役割を果たしながら、自分のもの（形）にして後進に伝え、想いをしっかりと受け止めていけること、その結果、後輩に先輩（私たち）が礎を作ってくれたからいまの自分達があるんだと思ってもらえることが必要となります。未来に携わる後輩のため、着実に進む1年にしたいものです。このような状況のなか、今夏は延

びます。日頃から、有事に対する意識の高揚を図るとともに、市民が安全で安心して暮らせる地域社会の構築に向けて、全力で取り組んでまいりますので、日常の安心の確保や、地域の活性化につきまして、引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

期されていた東京五輪・パラリンピックが開催の予定で、新型コロナウイルスに打ち勝った証として、また東日本大震災から復興した姿を世界に発信する大会として、日本の結束力を表すシンボルとなるに違いありません。私たちも平和を仕事にするプロとして、地域の皆さまに安全・安心を与える存在であり続けたいです。今年も肅々と活動してまいります。引き続き、当基地へのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆さまにとって良き年になりますよう御発展と御多幸とお祈りし、新年のご挨拶といたします。

高まっております。東日本大震災から、十年を迎えようとしています。当村の住民帰還は約八割となっており、これは、これまで隊員皆様方からは、復興・創生のために多くのご支援・ご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。将来を見据え、新たな村づくりを推進して参りますので、更なるご支援を賜りますようお願いいたします。結び、皆様におかれましては、今年が大きな躍進の年でありませう、そしてご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。





